

平成23年度事業報告書

1、事業方針

交通事故や病気によって脳に損傷を負い、後遺症として高次脳機能障害を持った者及び家族が主な利用者となる。これらの人々に行政機関、医療機関、福祉機関などの情報を提供することや、高次脳機能障害者と家族の相談や情報、交流の場を提供すること、自立支援法に基づく福祉サービス事業により、医療リハビリテーション後の生活訓練、社会参加準備訓練などの自立のための支援と就労のための支援を行い、さらに、社会に対しては、この障害の理解を深めるための啓発活動を実施した。

2、事業内容

特定非営利活動にかかる事業

(1) 高次脳機能障害および家族への支援に関する事業

【相談支援事業】

421,175 円

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・廿日市あいプラザ（自立支援特別対策助成金事業） 当事者家族の心身リフレッシュのためのヨガ体操を実施。 家族の悩みや支援の方法を語り合ったり、情報をつたえた。 ・中区地域福祉センター（広島市高次脳機能支援事業） 家族、言語聴覚士、法律家助手、体験者でグループになって様々な悩みを話し合った。 当事者ワークも指導員がついて実施した。 午後は予約での個別相談を実施。
事業日程	<ul style="list-style-type: none"> ・あいプラザ 第1木曜日・第3木曜日 10:00～12:00 ・中区地域福祉センター 第2火曜日 生活相談会 10:00～12:00 個別相談会 14:00～16:00
場所	<ul style="list-style-type: none"> ・廿日市総合福祉センターあいプラザ ・広島市中区地域福祉センター5階
従事者	社会福祉士・言語聴覚士・法律家助手・家族体験者
実施効果	<ul style="list-style-type: none"> ・相談会はグループ形式で行い、悩みの共有や体験者からの助言、障害のために起こるいろいろな問題などを話し合うことで、障害の理解につながり、家族間の関係が良くなってきた。 障害の理解が進み、手帳取得や年金申請につながり、福祉サービスの利用や生活の安定が図れた人もいる。 ・当事者ワークに参加することで、社会参加のきっかけになりクラブハウスへ通所できるようになってきた人もいる。

(2) 自立支援法に基づく福祉サービス事業

【クラブハウス・シェイキングハンズ作業所】

チャレンジ (就労移行支援事業)

3,800,000 円

内容	<p>・作業活動を通して労働習慣を確立し、得意なことや配慮が必要なことについて整理する。障害者職業センターやハローワークと連携して、適性に合った職場さがしから職場定着まで支援している。</p> <p>職業指導</p> <ul style="list-style-type: none">・手順や指示に従って作業する。・報告・連絡・相談ができるようになる。・丁寧に作業ができるようになる。・仲間と協力して作業できるようになる。 <p>就労支援</p> <ul style="list-style-type: none">・客観的に自分を知る。・自分に合った働き方を考える・面接に火地様なマナーや自己アピールの方法を身につける。・トラブルや不安を相談でき、働く上での苦労や心構えを知る。
事業日程	通年月曜～金曜 10時～15時
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	就労支援員・生活支援員
受益者	6名
実施効果	一般就労1名 4月40%利用率

ワークステージ (就労継続支援 B 型)

4,561,400 円

内容	<p>・一般就労がすぐにはできないが、それを指すために基礎から取り組みたい方に、軽作業やグループワークを提供している。サービスの利用期限はないため、緩やかなペースでレベルアップを目指す学びの場として利用していただく。</p> <p>生活訓練</p> <ul style="list-style-type: none">・公共交通機関を利用して自分で通所する。・時間を意識して生活する。・基本的なあいさつの仕方、マナー、身なりの修得。・毎日通える体力づくり、健康管理・集中力・持続力の修得、漢字や計算の基礎学習。
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の把握、ミスを減らす工夫の習慣化 ・助言を素直に取り入れ、苦手なこと、得意なことなどを自分で知る。 ・安定した自分でいられる方法を見つける ・コミュニケーションの練習、困ったときにはスタッフに相談できる。
事業日程	通年 月曜日～金曜日 10:00～15:00
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	生活指導員・職業指導員
受益者	通所者 10名から現在 17名
実施成果	吉備職業訓練校入校 1名、幕張職業訓練校 1名 利用率平成 23 年 4 月 40% ～ 平成 24 年 4 月 75%に増えた

(3) 高次脳機能障害者の一般社会への啓発活動及び広報活動に関する事業

343,433 円

内容	<p>1、自立支援特別対策助成金により廿日市と広島市で家族勉強会を、平成 24 年 1 月 29 日、3 月 4 日に実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高次脳機能障害の評価・検査結果を生活に活かすには？」 <p>3、ホームページ管理</p> <p>4、講演会の記録を冊子に作成 (6 月 12 日講演会の冊子作成)</p>
実施効果	<p>1、家族のための勉強会を 2 回実施して、家族のみならず医療福祉関係者の参加もあり、勉強会の実施を望む声が多かった。(別紙資料)</p> <p>3、ホームページによる問い合わせが増えてきた。</p> <p>4、冊子作成をして会員に配布、相談会に来られた人に参考資料として提供</p>
場所・日時	<ul style="list-style-type: none"> ・廿日市あいプラザ 勉強会実施 平成 24 年 1 月 29 日 ・広島市地域福祉センター大会議室 平成 24 年 3 月 4 日
受益者	廿日市 50 名 広島市 48 名

*別紙報告書

(4) 家族会交流支援事業

150,738 円

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第 2 火曜日 中区相談会の後、13 時～15 時まで ・奇数月第 2 木曜日 呉つばき会館 14 時～16 時まで ・日本脳外傷友の会代表者会議に参加して、厚労省、国土交通省に出向き要望事項等話し合う。 ・全国大会に参加(長野) 全国の情報交換
場所	広島市中区地域福祉センター 5 階 呉つばき会館
受益者	当事者家族 6 名～10 名

その他の活動事項

日時	内容	参加者
H23年 5月	日本脳外傷友の会運営委員会参加（東京） 厚生労働省、国土交通省話し合い	濱田
H23年 6月	・広島市共同作業所職員研修会参加 ・広島市就労支援ネットワーク設立準備会参加	栗栖・守下・竹本 山田
H23年7月	ビジネスマナー研修会参加	山田
H22年 8月	・就労支援セミナー・就業支援基礎研修参加 ・特例子会社エフピコ・生協特例子会社ハートコープ	栗栖・守下 濱田・日山
H23年 8月24日 ～26日	・日本職業リハビリテーション学会講師として参加 （名古屋） ・笑太鼓（高次脳機能障害者多機能事業所）豊橋見学	濱田 濱田・山田
H23年 10月	日本脳外傷友の会全国大会・運営委員会参加 （長野）	濱田・日山
H23年 11月	広島地域職業リハビリテーション推進フォーラム参加	濱田・山田
H24年 1月22日	京都高次脳機能障害リハビリテーション講習会（京都） 講師として参加	濱田・山田
H24年 2月25日 ～26日	・生活版ジョブコーチ報告セミナー参加 ・「高次脳機能障害がよくなること」朝日厚生文化事業 立神粧子ご夫妻・大橋先生講演会参加	濱田・日山 濱田・日山
H24年 3月	・就労支援実践報告・研修会 参加 ・広島市職員研修会 講師として	山田 山田

平成23年度

特定非営利活動に
係る事業

会計 財産目録

特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	69,064	
	広島銀行五日市八幡支店		
	3072694	4,722,386	
普通預金	広島銀行五日市八幡支店		
	3139012	312,994	
郵便振替		454,120	
未収入金			
広島市補助金 運営費		0	
広島市補助金 重度障害者加算費		0	
広島市補助金 施設保険加入費		0	
廿日市市補助金		0	
流動資産合計			5,558,564
2 固定資産			
建物附属設備			
改装工事		3,890,743	
ローパーテーション		26,365	
車両運搬具			
車両運搬具		102,527	
什器備品			
パソコン		16,820	
椅子		10,539	
パソコン DELL vostro230		29,273	
コニカミノルタ コピー機		306,404	
パソコン NEC PC-LS550CS6L		49,170	
収納庫		114,431	
台下冷凍冷蔵庫		201,398	
電磁調理器		296,281	
コンベクションオープン		214,865	
製氷機		113,860	
敷金			5,372,676
事務所敷金		780,000	
			780,000
固定資産合計			
資産合計			11,711,240
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
3月分給与		763,027	
預り金			
源泉所得税		6,180	
交通費預り金		86,280	
返納金		105,240	
借入金			
日山瑞恵		1,700,000	
濱田小夜子		1,700,000	
流動負債合計			4,360,727
負債合計			4,360,727
正味財産			7,350,513

平成23年度 特定非営利活動に係る事業 会計貸借対照表
 平成24年3月31日現在
 特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	5,558,564		
未収入金	0		
流動資産合計		5,558,564	
2 固定資産			
建物附属設備	3,917,108		
車両運搬具	102,527		
什器備品	1,353,041		
敷金	780,000		
固定資産合計		6,152,676	
資産合計			11,711,240
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	763,027		
預り金	197,700		
借入金	3,400,000		
流動負債合計		4,360,727	
負債合計			4,360,727
III 正味財産の部			
正味財産			7,350,513
負債及び正味財産合計			11,711,240

平成23年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書
平成23年4月1日 から 平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま

科目・摘要	金額		
I 事業活動収入の部			
1 会費収入		777,000	
受取会費			
2 事業収入		16,898,772	
障害福祉サービス事業			
就労移行支援・継続支援事業	14,669,201		
受託事業	629,000		
当事者家族支援事業			
相談支援事業	1,600,571		
3 助成金収入		7,197,000	
4 寄付金収入		445,486	
事業活動収入計			25,318,258
II 事業活動支出の部			
1 事業費			
障害福祉サービス事業			
就労移行支援・継続支援事業	7,842,913		
受託事業	518,487		
当事者家族支援事業			
相談支援事業	421,175		
家族会	150,738		
啓発・広報活動事業	343,433	9,276,746	
2 管理費			
・給料手当	1,434,614		
・交通費	69,448		
・通信費	3,655		
・消耗品費	0		
・保険料	56,655		
・会計管理費	219,308		
・施設整備費	7,197,000		
・雑費	18,276	8,998,956	
事業活動支出計			18,275,702
事業活動収支差額(A)			7,042,556
III 投資活動収入の部			
1 投資活動収入			
・駐車場敷金返納		9,000	
投資活動収入計			9,000
IV 投資活動支出の部			
1 投資活動支出		0	
投資活動支出計			0
投資活動収支差額(B)			9,000
V 財務活動収入の部			
1 財務活動収入		0	
財務活動収入計			0
VI 財務活動支出の部			
1 財務活動支出			
・借入金返済支出		5,600,000	
財務活動支出合計			5,600,000
財務活動収支差額(C)			△ 5,600,000
当期収支差額(A)+(B)-(C)			1,451,556
前期繰越収支差額(C)			3,146,023
次期繰越収支差額(A)-(B)+(C)			4,597,579